No. 201

問題形式別 ULTIMATE CHEAT SHEET

並べかえ問題の超絶ポイント30

並べかえは「ひらめき」ではなく手順で解く。動詞→固まり→位置の決まった語→残り、の順に組めば難問も崩せる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 まず述語動詞を決めて SV の骨格を作る
2 熟語・構文・冠詞＋名詞は先に固める
3 動詞の数−1＝つなぐ語の数で節を数える

◆ 5ステップで組み立てる 5

① **和文和訳・文脈**
日本語を「英語で言える日本語」(主語＋動詞)に直す。日本語が無ければ前後の文から時制と意味を決める。

② **動詞を決める**
時制のついた述語動詞を選び、それに合う主語をつける。

③ **固まりを作る**
熟語・構文・冠詞＋形容詞＋名詞・前置詞＋名詞をくっつけ、ピースの数を減らす。

④ **文型どおりに置く**
動詞の語法(SVOO・SVOC・A of B など)に従って並べ、修飾語を最後に置く。

⑤ **読み直す**
頭から読み、使い残し・数の一致・時制・意味のずれを確認する。

◆ 語群を見た瞬間に疑う形

語群にこれがあれば	まず疑う形
it ＋ to / that	形式主語・形式目的語・強調構文
to ＋ -ing	look forward to などの「前置詞 to」の熟語
the ＋ 比較級が2つ	The 比較級 S V, the 比較級 S V
never / little / not until が先頭候補	否定語＋倒置(助動詞＋S＋V)
had / were / should があり if が無い	仮定法の倒置
疑問詞＋do you think	Who do you think will ～?
前置詞が1つ浮く	関係詞の前・節の最後／不定詞の後ろ
動詞が2つでつなぐ語なし	関係代名詞・接続詞 that の省略
enough / too / so / such	形容詞との位置(rich enough / such a 形 名)
what	後ろは名詞が1つ欠けた文

◆ ① 骨格を作る：動詞と主語 6

例の見方：[語群]→ 完成文(マーカーが並べた部分)

☐ 1 まず述語動詞を決める

語群から「時制のついた動詞」を探し、合う主語をつける。to do・-ing・p.p. は単独では述語になれない(原形は現在形と同じ形なので注意)。SV が立てば残りは修飾語の置き場所探しになる。

> [passed / the / all / students] → **All the students passed** the exam.
> 生徒は全員その試験に合格した

☐ 2 動詞が2つ→つなぐ語が1つ

述語動詞の数−1＝接続詞・関係詞の数。つなぐ語が語群に無ければ、目的格の関係代名詞か接続詞 that の省略を疑う。

> [bought / I / is / the book / yesterday] → **The book I bought yesterday is** interesting.
> 私が昨日買った本は面白い

☐ 3 主語は「～は」とは限らない

「～すれば…」「～のせいで…」は無生物主語の合図。人を主語にして組めない時は、モノ・コトを主語にして take / make / enable / prevent などを動詞にする。

> [road / take / will / you / this] → **This road will take you** to the station.
> この道を行けば駅に着く

☐ 4 動詞の語法が後ろを決める

remind A of B、prevent A from -ing、provide A with B のように、動詞が後ろの前置詞や形を指定する。動詞を見たら「後ろに何を取るか」を思い出す。

> [of / reminds / me / always / the song] → **The song always reminds me of** my grandmother.
> その歌を聞くといつも祖母を思い出す

☐ 5 使役・知覚動詞は O の後ろ

make / let / have＋O＋原形、have / get＋O＋p.p.(～してもらう・される)、see / hear＋O＋原形／-ing／p.p.。O が「する」側か「される」側かで決める。

> [had / cut / my hair / I] → **I had my hair cut** yesterday.
> 昨日、髪を切ってもらった

☐ 6 It … to の形式主語

語群に it と to(または that)があり「～することは…だ」なら It is＋形容詞＋to do。for＋人は to の直前に置く。

> [for / is / it / me / hard / to] → **It is hard for me to** get up early.
> 私には早起きがつらい

◆ ② 固まりを作る：熟語・構文・修飾 9

☐ 1 熟語は最初にくっつける

look forward to、be used to、when it comes to など to の後ろが -ing の熟語は特に狙われる。語群に to と -ing があれば、まず前置詞の to を疑う。

> [forward / looking / seeing / to / I'm] → **I'm looking forward to seeing** you again.
> またお会いできるのを楽しみにしている

☐ 2 冠詞は名詞の固まりの先頭

a / the を見たら「冠詞＋(副詞)＋形容詞＋名詞」を作る。例外の語順は such a＋形＋名、so / as / too＋形＋a＋名、quite a ～、all the ～。

> [easy / such / problem / an] → It was **such an easy problem** that everyone solved it.
> とても簡単な問題だったので全員が解けた(solve は problem と結びつく)

☐ 3 比較は相方を探す

as は as と、比較級は than と、the 比較級は the 比較級とペア。the more を見たら「the 比較級＋S＋V, the 比較級＋S＋V」の節を2つ作る。

> [the / the / more / better / you / practice] → **The more you practice, the better** you will play.
> 練習すればするほど上手になる

☐ **4 関係詞の後ろは穴あき文**

関係代名詞の後ろは名詞が1つ欠けた文。前置詞が浮いたら、関係代名詞の直前か節の最後に置く。where なら前置詞は要らない。

> [he / in / lives / which] → This is the house **which he lives in**.
> これが彼の住んでいる家だ(in which he lives も可)

☐ **5 間接疑問は平叙文の語順**

文の中に入った疑問文は「疑問詞＋S＋V」。疑問文用の do / does / did は消え、動詞に時制や三単現の s が戻る。

> [he / where / lives / know] → Do you **know where he lives**?
> 彼がどこに住んでいるか知っている？

☐ **6 do you think は疑問詞の直後**

Yes / No で答えない質問では、疑問詞を文頭に出して do you think を割り込ませる。後ろは平叙文の語順。believe / suppose / say も同じ。

> [think / who / you / will / do] → **Who do you think will** win the game?
> 誰が試合に勝つと思う？

☐ **7 enough と too は位置で決まる**

形容詞・副詞＋enough to do(名詞なら enough＋名詞)、too＋形容詞＋to do。enough を形容詞の前に置くのは典型的な誤答。

> [enough / buy / rich / to] → He is **rich enough to buy** a new car.
> 彼は新車を買えるほどお金持ちだ

☐ **8 語句を連れた修飾は名詞の後ろ**

分詞・不定詞・前置詞句が語句を連れていれば名詞の後ろへ。「～している…」は -ing、「～された…」は p.p.。

> [on / sitting / the bench / the girl] → **The girl sitting on the bench** is my sister.
> ベンチに座っている女の子は私の妹だ

☐ **9 news that は「～という」**

fact / news / idea / possibility などの後の that は、後ろが名詞の欠けない完全な文なら同格。欠けた文なら関係代名詞の that。

> [that / the news / passed / he / had] → I was surprised at **the news that he had passed** the exam.
> 彼が試験に合格したという知らせに驚いた

◆ ③ 位置が決まっている語・特別な語順 7

☐ **1 頻度の副詞は be・助動詞の後**

always / never / often / usually は、be 動詞と助動詞の後ろ、一般動詞の前。完了形なら have と p.p. の間。

> [never / has / late / been / he] → **He has never been late** for school.
> 彼は一度も学校に遅刻したことがない

☐ **2 否定語が文頭→疑問文の語順**

Never / Little / Hardly / Not until ～ / Only＋副詞句が文頭に来ると、後ろは助動詞＋S＋V の倒置。否定語が文頭の候補なら倒置を疑う。

> [have / never / such / I / seen] → **Never have I seen such** a beautiful view.
> こんなに美しい景色は見たことがない

☐ **3 and / or / but の左右はそろえる**

等位接続詞の前後は原則同じ形(名詞と名詞、-ing と -ing、to do と to do)。both A and B、not only A but also B、either A or B も同じ。

> [singing / likes / and / both / dancing] → She **likes both singing and dancing**.
> 彼女は歌うことも踊ることも好きだ

☐ **4 -thing は形容詞を後ろに**

something / anything / nothing / someone＋形容詞＋to do の順。「何か冷たい飲み物」は something cold to drink。

> [cold / to / something / drink] → I want **something cold to drink**.
> 何か冷たい飲み物がほしい

☐ **5 強調構文 It is … that**

語群に it・is(was)・that があり「～なのは…だ」なら強調構文。It is と that の間に強調する語句、that の後ろに残りの文。

> [Tom / it / that / was / met / I] → **It was Tom that I met** at the station.
> 私が駅で会ったのはトムだった

☐ **6 if の無い仮定法は倒置**

Had S p.p. / Were S / Should S で始めれば if を省ける。語群に had・were・should があって if が無い時は倒置を疑う。

> [it / been / not / had / for] → **Had it not been for** your help, I would have failed.
> 君の助けがなかったら、私は失敗していただろう

☐ **7 不定詞の後ろに前置詞が残る**

a house to live in、someone to talk to のように、修飾される名詞が前置詞の目的語なら前置詞は最後に残る。

> [to / no one / to / talk / has] → He **has no one to talk to**.
> 彼には話し相手がいない

◆ ④ 余る語・足りない語・語数のヒント 6

☐ **1 語数を数えて余りを探す**

空所の数より語が1つ多ければ不要語が1つ。不要語は「働きの似た語のペア」(to と for、which と what、say と tell)の片方であることが多い。

> [for / hear / glad / was / to / he] → **He was glad to hear** the news.(for が不要)
> 彼はその知らせを聞いて喜んだ

☐ **2 補う語は it・that・to を疑う**

「1語補え」型で補うのは、形式主語の it、接続詞の that、不定詞の to、代動詞の do など文の骨組みの小さな語が多い。

> [took / three hours / me / to / read]＋1語 → **It took me three hours to read** the book.
> その本を読むのに3時間かかった

☐ **3 空所の前後の語からつなぐ**

直前の語は次に何を取るか、直後の語は前に何を求めるかを考え、最初と最後の語を先に決める。外側から内側へ埋めると速い。

> He is [man / the / for / right] the job. → He is **the right man for** the job.
> 彼はその仕事にうってつけの人物だ

☐ **4 大文字の語は文頭の候補**

大文字で始まる語(固有名詞と I を除く)は文頭に来る。ただし文頭の語もあえて小文字にする出題も多いので、大文字が無くても迷わない。

> [all / Not / students] → **Not all students** passed the test.
> 全員が合格したわけではない

☐ **5 日本語つきは「和文和訳」から**

日本語をそのまま英語にしない。「～には…がある」→ have、「～のおかげで…できる」→ enable のように、英語で言える日本語に直してから並べる。

> [has / windows / room / two / this] → **This room has two windows**.
> この部屋には窓が2つある

☐ 6 日本語なしは文脈で決める

和文が無い時は、前後の文の時制・論理(理由か結果か)・代名詞から意味を予測する。同じ語が2つあれば役割の違いを考える。

> I missed the bus, so I [to / had / walk / to] the station. → so I **had to walk to** the station.
> バスに乗り遅れたので駅まで歩くしかなかった(不定詞の to と前置詞の to)

◆ ⑤ 仕上げで落とさない 2

☐ 1 指定位置だけ確定させる

「3番目と5番目を答えよ」の形式なら、全文が決まらなくても指定位置が決まれば得点できる。固まりの数から位置を数え、時間をかけすぎない。

☐ 2 完成文を頭から読み直す

最後に①語の使い残し ②主語と動詞の数の一致 ③時制 ④日本語・文脈との一致 を確認。読んで引っかかる所はたいてい誤り。

なぜ動詞から決める？

英語は動詞が文型を決める言語。動詞が決まると、後ろに来る形(O・C・to do・that 節・前置詞)が決まり、残りの語の居場所が一気に絞れる。日本語の語順から組むと迷うのはこのため。

◆ 受験生がハマる語順の罠 6

☐ ✕ ~~He made me to wait.~~
○ **He made me wait.**
使役の make＋O＋原形。受動態なら was made to wait

☐ ✕ ~~I don't know what to do it.~~
○ **I don't know what to do.**
what が do の目的語。it を足すと目的語が2つ

☐ ✕ ~~This is the house which he lives.~~
○ **This is the house which he lives in.**
live は自動詞。which を使うなら in が要る

☐ ✕ ~~How it is beautiful!~~
○ **How beautiful it is!**
how＋形容詞は離さず先頭に

☐ ✕ ~~Hardly I had arrived when it began to rain.~~
○ **Hardly had I arrived when it began to rain.**
否定の副詞が文頭→倒置

☐ ✕ ~~Do you think who will come?~~
○ **Who do you think will come?**
Yes / No で答えない質問は疑問詞が文頭

◆ 例題にチャレンジ

[ ]内を並べかえる。(不要)とあるものは1語使わない。

1 彼が何を言いたいのか分からない。I don't know [say / to / he / what / wants].

2 このアプリのおかげで私は英単語を楽に覚えられる。This app [me / to / enables / learn] English words easily.

3 彼女は私が今まで会った中でいちばん親切な人だ。She is [person / kindest / the / have / I / ever] met.

4 宿題を終えてはじめて彼は寝た。He did not go to bed [finished / until / had / he] his homework.

5 (不要1語)母は私に早く寝るように言った。My mother [me / to / told / said / go] to bed early.

6 (不要1語)その問題を話し合うために会議が開かれた。A meeting was held [discuss / the / problem / to / about].

7 彼は私にどこで切符を買えばよいか教えてくれた。He told me [buy / to / where / the ticket].

8 兄は私より3歳年上だ。My brother is [than / years / three / older] me.

◆ 解答

1 what he wants to say 間接疑問＝疑問詞＋S＋V
2 enables me to learn 無生物主語＋enable O to do
3 the kindest person I have ever met 最上級＋目的格の関係代名詞の省略
4 until he had finished not A until B「B して初めて A」
5 told me to go(said が不要) tell O to do。say は O＋to do を取らない
6 to discuss the problem(about が不要) discuss は他動詞。about を付けない
7 where to buy the ticket 疑問詞＋to do は名詞の固まり
8 three years older than 差(three years)は比較級の直前

参考資料 原田英語「英語整序問題の解き方 秒殺テクニック＆コツ完全版」

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート(全439本・無料)